

平成 30 年 7 月 7 日

健康サポート薬局としての取り組み

クオール薬局幸手中央店

関谷陽子

【はじめに】

2014 年 6 月厚生労働省は、“患者のための薬局ビジョン”を公表しました。これは薬局薬剤師の機能を見直し、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師としての機能に地域の健康をサポートする機能を薬局に求める内容となりました。2016 年 4 月からかかりつけ薬剤師制度がスタートし、2016 年 10 月からは健康サポート薬局の認可が開始されました。これらは薬機法に明記された制度であります。2018 年 6 月現在全国で 985 薬局が認可されています。当薬局も 2017 年 2 月より健康サポート薬局として受理され、地域住民の健康の維持増進を目的とした取り組みを行っています。

【要旨】

2017 年 2 月から毎月“暮らしの保健室”を開催し、前半 30 分は医療、疾患に関する講話を行い、後半はロコモ体操や歩幅測定、シナプソロジーを取り入れています。参加者は 60 代から 80 代であり、毎回 5 名～10 名が参加されています。骨粗鬆症に関する講話は 3 回実施しました。また管理栄養士による栄養相談も毎月実施していますが、最も多い疾患は糖尿病患者であり、次に多い疾患は骨粗鬆症の患者です。ビタミン D の多い食品やカルシウムの摂取についての質問を多く受けています。糖尿病料理教室の他、骨粗鬆症料理教室も企画しています。

糖尿病患者やステロイド薬等服用患者には、骨密度への影響についても服薬指導時は注意喚起を実施し、骨密度測定の受診勧奨を行っています。

今後の取組としては幸手市の特定検診に骨密度測定が 1200 名の枠で検査項目として取り組まれたこともあり、骨密度測定、骨粗鬆症の啓蒙活動を継続してまいります。FRAX ツールを用いた骨粗鬆症リスク算定を幸手市内の薬局に呼びかけ実施していきたいと考えます。

地域の骨折患者数が少しでも減少し、健康寿命の延伸に貢献できるよう、努力してまいります。